

診断群分類別患者数等
指標集計結果 集計表

内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1 060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	80	10.48	8.88	3.75%	85.18
2 0400802499x0xx	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上） 手術なし 手術・処置等 2 なし	54	18.61	16.40	9.26%	87.50
3 060050xx03xxxx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。） 血管塞栓術（頭部、胸腔、腹腔内血管等） 選択的動脈化学塞栓術	51	14.86	10.22	0.00%	75.49
4 060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。） 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	48	2.10	2.57	0.00%	69.44
5 130060xx97x00x	骨髄異形成症候群 手術あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	37	2.68	15.01	0.00%	86.76
【解説】 内科で多い症例は胆管（肝内外）結石、肺炎等、肝・肝内胆管の悪性腫瘍、小腸大腸の良性疾患、骨髄異形成症候群です。 肝・肝内胆管の悪性腫瘍についての症例は、専門医の着任以降、症例数が増加しています。 前年度に比べ上記全ての患者数が増加しています。						

循環器科

	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	050050xx9913xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1－1 あり 手術・処置等 2－3 あり	18	4.44	6.12	5.56%	72.28
2	050050xx0203xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・ 処置等 1－なし、1,2 あり 手術・処置等 2－3 あり	13	5.31	9.19	0.00%	73.92
3	050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等 1－なし、1,3 あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	12	9.50	9.59	0.00%	86.75
4	050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 動脈塞栓除去術 その他のもの（観血的な もの）等 手術・処置等 1－なし、1 あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	－	－	－	－	－
5	030250xx991xxx	睡眠時無呼吸 手術なし 手術・処置等 1 あり	－	－	－	－	－
5	050130xx9900x0	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	－	－	－	－	－

【解説】

循環器内科で多い症例は、狭心症、慢性虚血性心疾患、徐脈性不整脈です。

当院では、カテーテル治療（経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術、経皮的末梢動脈形成術、経皮的カテーテル心筋焼灼術など）に力を入れており、関連症例の患者数が上位を占めています。また、クリニカルパスを積極的に活用することにより、全国平均より在院日数が短縮され、患者さんのQOL（生活の質・生命の質）の向上、廃用症候群の予防等にも貢献できていると考えます。閉塞性動脈疾患、睡眠時無呼吸、心不全の患者数は10未満のため数値を掲載していません。

外科

	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	060035xx99x5xx	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2－5あり	30	3.67	4.42	0.00%	75.77
2	060035xx99x6xx	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2－6あり	20	5.50	4.64	0.00%	73.80
3	060040xx99x6xx	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2－6あり	18	3.00	4.59	0.00%	58.83
3	060150xx99xxxx	虫垂炎 手術なし	18	10.50	8.00	5.56%	59.89
4	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア 等	18	8.11	4.54	0.00%	69.44
5	060330xx02xxxx	胆嚢疾患（胆嚢結石など） 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	16	10.13	5.99	0.00%	62.81
	060040xx99x5xx	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2－5あり	14	3.00	4.33	0.00%	57.07
【解説】 外科で多い症例は、結腸の悪性腫瘍、直腸肛門の悪性腫瘍、虫垂炎、鼠径ヘルニア、胆嚢疾患です。 地域の開業医の先生方から患者さんを紹介されることも多く、保存的加療にて改善されない場合は手術を実施しています。 結腸の悪性腫瘍は化学療法をしており、複数回入院してもらうため、患者数（延べ数）が多くなっています。また、当院では透析患者さんの治療も外科が担当しています。							

整形外科

	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	160800xx02xxxx	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	69	41.22	25.29	10.14%	84.00
2	160690xx99xxxx	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）手術なし	30	35.90	19.16	20.00%	83.00
3	160760xx01xxxx	前腕の骨折 骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨等	26	7.69	5.95	3.85%	63.04
4	07040xxx01xxxx	股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）人工関節再置換術等	12	36.00	18.76	8.33%	72.50
5	160760xx02xxxx	前腕の骨折 骨内異物（挿入物を含む。）除去術 前腕、下腿等	11	2.82	3.06	0.00%	65.73
5	160800xx99xxx0	股関節・大腿近位の骨折 手術なし 他の病院・診療所の病棟からの転院以外	11	13.27	13.56	54.55%	83.09

【解説】

整形外科は、骨折治療が中心となっており、股関節・大腿近位骨折、前腕の骨折、股関節骨頭壊死、股関節症が上位を占めています。股関節・大腿近位骨折については、急性期治療後、家庭や社会復帰を目標に集中的なリハビリを提供する目的で、回復期リハビリテーション病棟へ転棟します。そのため、平均在院日数が全国平均に比べ延長しています。

脳神経外科

	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	11	37	9.83	0	85
2	010060xx99x20x	脳梗塞 手術なし 手術・処置等 2 - 2 あり 副傷病なし	-	-	-	-	-
2	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	-	-	-	-	-
3	010040x099000x	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10 未満） 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	-	-	-	-	-
4	010060xx99x40x	脳梗塞 手術なし 手術・処置等 2 - 4 あり 副傷病なし	-	-	-	-	-
5	010230xx99x00x	てんかん 手術なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし	-	-	-	-	-

【解説】

脳神経外科では、頭蓋・頭蓋内損傷、脳梗塞の症例が多くなっています。

非外傷性頭蓋内血腫については、急性期治療後、家庭や社会復帰を目標に集中的なリハビリを提供する目的で、回復期リハビリテーション病棟へ転棟します。

患者数が10未満のものは数値を掲載していません。

眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1 020110xx97xx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	187	2.02	2.49	1.60%	76.83
2 020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり 両眼	121	5.47	4.29	0.00%	75.62
3 020230xx97x0xx	眼瞼下垂 手術あり 手術・処置等2 なし	15	3.13	2.74	0.00%	77.87
4 020320xx97xxxx	眼瞼、涙器、眼窩の疾患 手術あり	—	—	—	—	—
5 020250xx97xxxx	結膜の障害 その他の手術あり	—	—	—	—	—

【解説】

眼科では、主に手術目的に入院しています。最も多い症例数は白内障（片眼）の手術、白内障（両眼）の手術、続いて眼瞼下垂の手術です。
 クリニカルパスに沿って実施され、白内障（片眼）の在院日数は全国平均より短縮されています。
 地域の開業医の先生方から多数の患者様をご紹介いただいております。
 眼瞼、涙器、眼窩の疾患、結膜の障害の疾患の患者数は10未満のため数値を掲載していません。

泌尿器科

	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1 あり	18	2.06	2.45	0.00%	76.78
2	110070xx03x20x	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等 2 - 2 あり 副傷病なし	11	7.45	6.63	0.00%	75.18
2	11012xxx03xxxx	上部尿路疾患 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術（一連につき）	—	—	—	—	—
3	11013xxx02xxxx	下部尿路疾患 尿道狭窄内視鏡手術等	—	—	—	—	—
4	050180xx01xxxx	静脈・リンパ管疾患 四肢の血管拡張術・血栓除去術等	—	—	—	—	—
5	110080xx97x3xx	前立腺の悪性腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等 2 - 3 あり	—	—	—	—	—
5	11012xxx97xx0x	上部尿路疾患 その他の手術あり 副傷病なし	—	—	—	—	—
5	110200xx02xxxx	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	—	—	—	—	—
5	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	—	—	—	—	—

【解説】

泌尿器科では、前立腺の悪性腫瘍、膀胱腫瘍 症例が全体の半数近くを占めています。
悪性腫瘍に対する症例が多くなっており、前立腺の悪性腫瘍は、前立腺の針生検を行った症例です。
患者数が10未満の症例は、数値を掲載していません。